

バリエンス規定

急性期病院: 転院日数バリエンスの評価のみ実施する事とするが、バリエンス評価の有無が「必要なし」になっている場合は入力する必要はない。以下にその判断基準を示す。

ADL点数/転院日数	14日以下	15日～28日	29日以上
100点以上	必要なし	Nバリエンス	Nバリエンス
100点未満	Pバリエンス	必要なし	Nバリエンス

目標在院日数

100点以上	7日～14日
100点未満	15日～28日

回復期病院: 転院日数バリエンス及び機能評価レベルバリエンスの両方を実施。但し、バリエンス評価の有無が「必要なし」の場合は入力する必要はない。以下にその判断基準を示す。(在院日数に関しては、最終生活場所あるいは自宅退院以外のケースで転院扱いとなる場合において、目標在院日数を超えた場合はNバリエンスの対象となる)

短期群 (100点～126点) * 初回評価が110点以上の場合、減点された時点でNバリエンス

	90日未満	90日以上	初回評価より10点以下の加算(*)
Pバリエンス			
Nバリエンス			

中期群 (80点～99点)

	30日以内	150日以上	初回評価より10点以上減点
Pバリエンス			
Nバリエンス			

長期群 (60点～79点)

	60日以内	180日以上	初回評価より10点以上減点	初回評価より30点以上増加
Pバリエンス				
Nバリエンス				

長期群 (~59点)

	90日以内	210日以上	初回評価より10点以上減点	初回評価より30点以上増加
Pバリエンス				
Nバリエンス				

	目標在院日数	目標機能レベル
短期群	～60日	110～126
中期群	60日～120日	100～120
長期群	90日～150日	80～100
長期群	120日～180日	60～80

連携施設・連携施設

最終生活場所へ送り出す施設のみが入力する事になる。バリエンス入力画面を開きバリエンス評価の有無が「必要なし」であれば入力する必要はない。また、最終生活場所以外への転院の場合は、バリエンス入力画面を開いても入力欄が非表示になっているため入力は出来なくなっている。判断基準は回復期と同様である。転院日数バリエンスは必須とするが、機能評価レベルバリエンスはわかる範囲の回答で構わない。